

# 衆議院環境委員会ニュース

平成 25. 1. 25 第 182 回国会第 2 号（閉会中審査）

1 月 25 日（金）、第 2 回の委員会が開かれました。

1 アルジェリアにおける邦人拘束事件に対し、黙祷をささげました。

## 2 理事の補欠選任

・理事の補欠選任を行いました。

理事 篠原 孝君（民主）（理事菊田真紀子君去る 17 日委員辞任につきその補欠）

理事 河野 正美君（維新）（理事松田学君去る 18 日委員辞任につきその補欠）

理事 泉原 保二君（自民）（理事古川禎久君去る 23 日委員辞任につきその補欠）

理事 うへの 賢一郎君（自民）（理事松本洋平君去る 23 日委員辞任につきその補欠）

理事 北川 知克君（自民）（理事御法川信英君去る 23 日委員辞任につきその補欠）

理事 土屋 品子君（自民）（理事小池百合子君去る 23 日委員辞任につきその補欠）

理事 富岡 勉君（自民）（理事松本文明君去る 23 日委員辞任につきその補欠）

3 石原環境大臣（原子力防災担当大臣）、田中環境副大臣、井上環境副大臣、齋藤環境大臣政務官及び秋野環境大臣政務官からそれぞれ就任の挨拶が行われました。

## 4 環境の基本施策に関する件（不適正除染問題等）

・石原環境大臣、井上環境副大臣、秋野環境大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

### 北川 知克君（自民）

- ・除染の取組に当たっては、東京電力福島第一原子力発電所からの距離や地方自治体の境界等にとらわれず、地形等も考慮してきめ細やかな対応を取るべきではないか。
- ・不適正除染事案に係る環境省による調査結果を踏まえた、今後の再発防止策について、井上環境副大臣の取組方針を伺いたい。
- ・除染の一層の推進のための仮置場、中間貯蔵施設及び最終処分場の確保並びに福島復興の加速化に向けた石原環境大臣の決意を伺いたい。

### 吉田 泉君（民主）

- ・降雨等によって福島県全体の放射性物質の線量値が発災当初よりも下がっている状況下で、不適正除染が行われていたとされる 5 事案が環境に及ぼす影響度と、除染事業の実態についての環境省の見解を伺いたい。
- ・今後の除染事業における環境大臣と復興大臣との具体的な役割分担について、石原環境大臣に伺いたい。

### 阪口 直人君（維新）

- ・昨年秋以降、除染作業に係る苦情等が環境省に寄せられていたことから、同省はその時点で真偽を確認し、十分な分析・対策を行うべきであったと考えるが、井上環境副大臣の見解を伺いたい。
- ・不適正除染事案が発覚した際に当該違法事業者に対し厳しい法的対応が必要であると同時に、事業者による効率的な除染作業の推進を図らねばならないとの相反を乗り越えて、環境省は指導的役割を果たしていくべきと考えるが、井上環境副大臣の見解を伺いたい。

### 斉藤 鉄夫君（公明）

- ・除染が適正に行われるためには、地元自治体や住民との連携した施工監理の仕組みづくりが重要であると考えているが、秋野環境大臣政務官の見解を伺いたい。
- ・一義的には受注企業の責任施工が基本である除染について、環境省による相応な監督体制構築の必要性に対する秋野環境大臣政務官の見解を伺いたい。

## **杉 本 かずみ君 (みんな)**

- ・除染については党派を超えて取り組むべき問題であり、前政権の施策との連続性を保ちつつ、必要な改善を適宜加えて取り組む必要があると考えるが、石原環境大臣の今後の取組方針を伺いたい。

## **笠 井 亮君 (共産)**

- ・国の直轄事業であるにもかかわらず、危険で過酷な除染作業に従事する労働者の日給や除染手当が適正に支払われていないことや、労働者の線量管理が不十分であること等の問題について、事業発注者である環境省が除染作業に従事する労働者から直接ヒアリング等を行い、労働条件等を徹底的に適正化すべきと考えるが、石原環境大臣の所見を伺いたい。